4月23日（日） 緑化まつり 開催

市内に残された貴重な緑を21世紀の未来へ残すためには、もう一度一人ひとりが考え、市民・事業者・行政がそれぞれの責務に応じた役割分担のもとに、家庭や学校・職場など身近なところから緑とふれあい親しむことが大切です。自然と人とが共生する緑豊かな街を形成し、一人ひとりが豊かさを実現できる生活環境の実現に向け、「ゆたかな心・ゆたかな緑」をメインテーマに、4月23日（日）第16回海老名市緑化まつりを開催します。

問い合わせ
公園緑地課
（内619）

午前9時開始　多彩な催し物が…

当日は多彩な催し物をたくさん予定していますので、さわやかな春の1日をご家族そろってお過ごしください。また、市みどり基金・県緑の募金活動を行いますのでご協力をお願いします。

イベントコーナー

●緑化募金コーナー等
花木苗、黒土等を募金者に配布します（午前9時から花木苗、花の種等。午前10時30分から黒土等、なお品物が終わり次第終了）。また、本部テントの募金コーナーで募金にご協力いただいた方には、メルヘンSL乗車券・風雲からくり城券を差し上げます。そのほか、小さなお子さんも楽しめるエアーキッズランドも用意してあります。

●花と緑のコンサート
相州海老名東柏太鼓、海老名市民吹奏楽団のみなさんによる迫力ある演奏や、草笛や森遊びの楽しさを教えてくれる海老名雑木林同好会、若さあふれる海老名高校バトン部による演技、切れ味のある有馬高校ダンス同好会によるストリートダンスなどをお楽しみください。

●緑ジャンケン大会
ジャンケンに勝つと、花鉢などの賞品を進呈します。

●第10回スタンプラリー

ステージでの花と緑のコンサート

●木工教室とガーデニング等

●花の里づくりコーナー
レンゲ畑・ミニ動物園。花の苗、肥料の配布があります。

テントコーナー

●緑化相談

●盆栽相談

●健康相談

●販売コーナーほか。

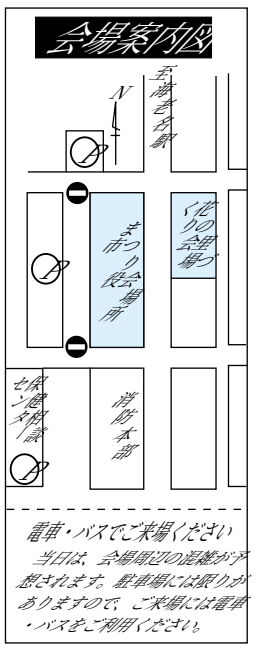
展示コーナー

●盆栽展

●緑の写真館・緑化ポスター展・低公害車等展示コーナーほか。

※催し物、内容については都合により変更させていただく場合もあります。

時間	緑化まつり　プログラム		
	ステージ	テント・広場等	募金協力の方に配布
午前9時	開会宣言	販売開始 野草ウオッチング・スタンプラリー（午後3時まで） 木工教室とガーデニング（定員まで） メルヘンSL乗車会・風雲からくり城 エアーキッズランド・森あそびの楽しさを知ろう（午後3時まで）	花木苗・花の種・パンジー・緑化グッズの配布
9時30分	花と緑のコンサート第1部「東柏太鼓」（10時30分まで）		
10時30分			黒土・チップの配布
11時	森遊びの楽しさ（草笛）（11時30分まで）	野草観察ハイク（0時30分まで） さつき盆栽講習（0時30分まで）	
11時30分			
11時45分	バトン演技 海老名高校バトン部（正午まで）		
午後0時30分	ストリートダンス 有馬高校ダンス同好会（0時50分まで）		
1時10分	花と緑のコンサート第2部「海老名市民吹奏楽団」（1時40分まで）		
2時	緑ジャンケン大会（2時45分まで）		
3時	まつり終了		



広場では木工教室も

思いつくままに

お帰りなさい

「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」という言葉は、職業人であれ、通学・通園者であれ、家族からの言葉です。この言葉には少なくても、励ましといたわりと歓迎の意味が込められているのではないかと思います。

ところで、「お帰りなさい」について、この3月議会で、ある議員さんから、「学校給食の牛乳パックを、リサイクル商品として活用することはどうか?」という質問がありました。

「牛乳パックの開けやすい商品への転換が必要で、さらに洗浄とか乾燥の方法等についても、子どもたちの実態に即し、研究していきたい」と答えておきました。

しかし、学校と家庭、大人と子どもの違いこそあれ、牛乳パックは月2回、紙・布・ペットボトル等、資源物として回収しており、庁舎の玄関脇にも収集箱が設置され、定期的に集められ、古紙と一緒に静岡県の製紙会社に送られ、やがてトイレットペーパーとして帰ってくる。その包装紙には、「ただいま」「おかえりなさい」と印刷されています。

子どもたちの心に、この「おかえりなさい」という文字は、どう響き、どう感じるのでしょうか? この響きこそ、環境教育の原点だと思います。「洗って、開いて、乾かす」には、いろいろ問題はあるでしょうが、「ただいま」と言っているのですから、〝使うのもリサイクル・だ〟を理解する良い教材になると思います。

海老名市長　亀井　英一

5月5日

ファミリースポーツデー

市では5月5日に、スポーツの高揚と家族や友達のコミュニケーションの場として、海老名運動公園の3施設を無料開放します。また、当日プロ野球イースタンリーグの公式戦を開催しますので、見るスポーツも同時に楽しんでください。

▷無料開放施設・利用時間

①海老名運動公園総合体育館・陸上競技場（トラックのみ）
午前9時～午後9時（総合体育館の利用は原則として1回1時間。ただし、トレーニング室については、通常の時間区分の利用となります）　※利用する方は、運動のできる服装（シューズ含む）を着用してください。

②屋内プール　午前9時30分～午後8時30分

▷問い合わせ　海老名運動公園総合体育館（☎235・7204）。

プロ野球イースタンリーグ公式戦

▷カード　湘南シーレックス（横浜ベイスターズのファームチーム）対　西武ライオンズ　▷場所　海老名運動公園野球場　▷時間　午後1時試合開始（開場・午前11時予定）
▷入場料　①バックネット裏1700円　②内野芝　大人1200円、小人600円　③外野芝　大人700円、小人300円　▷販売場所　海老名運動公園野球場・スポーツクラブルネサンス海老名ほか

▷問い合わせ　海老名運動公園野球場（☎234・6400）、横浜ベイスターズシーレックス事業部（☎045・681・3008）。

海老名むかしばなし

幕末の文久・慶応の頃、利息は遊行寺・東興寺・善光寺共に、元金二十五両につき一カ月金一分であった。年利は一割二分ということになる。海老名では、この頃の国分寺や日月宮が年利一割二分五厘、総持院が嘉永四年（一八五一）で年利一割であった。

杉久保村住民が善光寺へ出した借金証文（藤沢市文書館）

借り主は必ず田畑を抵当にしなければならなかった。慶応元年に本郷村が遊行寺から百両借りたときの抵当は、上田一町五反歩であった。

未進であった。

借用証書には、当人だけでなく、一般に五人組の代表・親類の代表・名主も保証人として署名・捺印した。

他の寺院の場合も同様かも知れないが、遊行寺からの借入金は明治五年に「御筋」からの通達で利息分は免除となり、元金は十一月二十日までに完済しなければならなくなった。

また、他の金融手段として頼母子講（注3）も行われた。天保十三年（一八四二）正月に河原口村の人が会主となり、名主を含む世話人十三名、講中（組合員）三十三名、掛金一口二両、落鬮手取金（注4）六十両、年に三会で頼母子講を始めた。翌年三月には望地村の人が会主、国分村の四名と寺尾村（現綾瀬市）の二名が世話人となって、講中二十四名で開始、掛金は一口二両一分、落鬮手取金五十両、年に三会であった。

年は不明であるが、下今泉村の永珊寺の発会で、世話人五名、講中三十八名、掛金一口一両三分、落鬮手取金五十五両の頼母子講も行われた。また、慶応三年（一八六七）三月、下今泉村の人が、総持院発会の頼母子講で百両を落鬮したこともあった。

この他に、田畑を抵当に入れて、村内や近村の富裕者から金銭を借りることも多かった。　（細川光成）

（注1）祠堂金…本来は、死者の冥福を祈るため、寺院の修復にと寄進された金銭の意。

（注2）郷借…村全体で借りること。

（注3）頼母子講…会主のもとに組合員が一定の掛金を積み立て、一定の期日に抽選・入札などの方法で所定の金額を順次組合員に融資する、互助的な金融組合。

（注4）落鬮手取金…鬮に当たった組合員が受ける融資金。

電話で海老名の昔話が聞けます

3／7～4／3　第247話　妖狐と猛犬　勘五郎
4／4～5／8　第248話　笠松と烏　比丘尼

☎233・3838